
事業者アンケート結果

○ 廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）結果

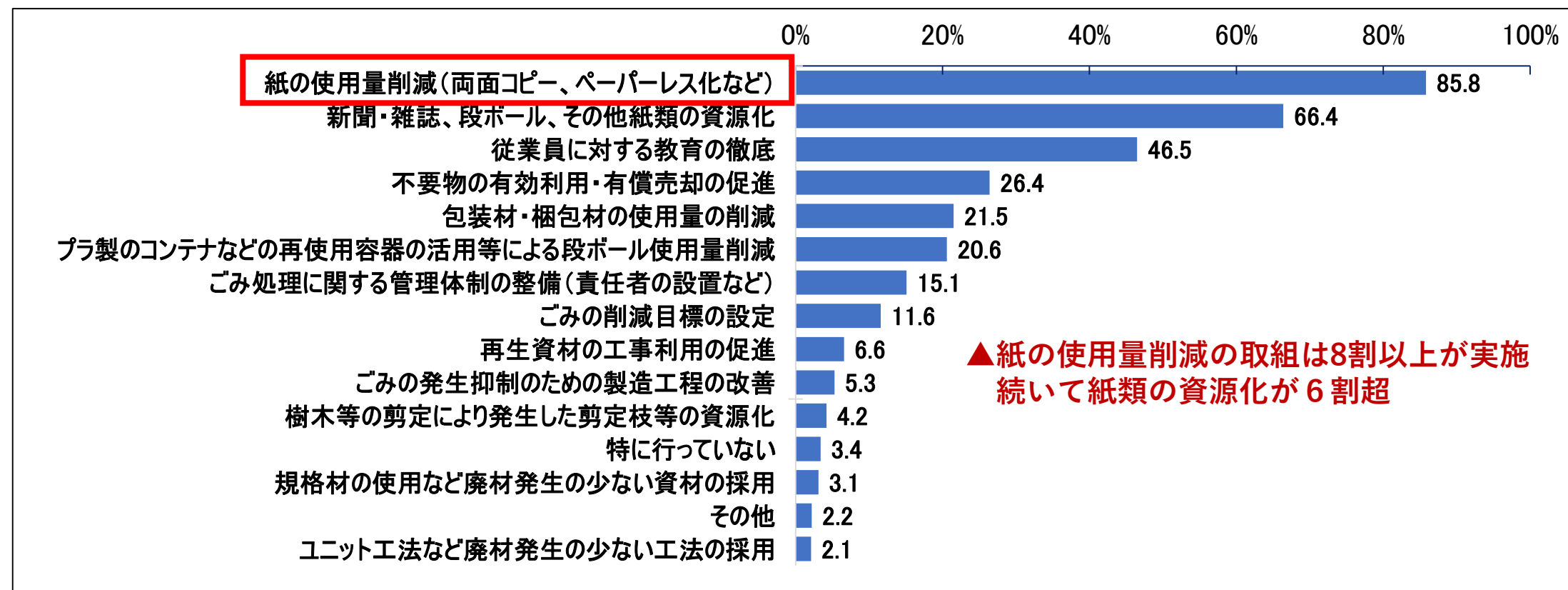
- (1) 各事業所の取組状況について . . . P 3
(ごみの減量化・資源化の推進、食品ロス、脱炭素化)
- (2) 各事業所のごみ置き場の管理について . . . P 7
- (3) 各事業所がごみを処理するうえでの課題について . . . P 8
- (4) 各事業所の品目別の処理方法について . . . P 9
(品目別処理方法、排出量が減少した理由)
- (5) 川崎市の今後の取組について . . . P 11
- (6) 業種別 各事業所の取組状況について . . . P 12
- (7) 業種別 各事業所のごみ置き場の管理について . . . P 16
- (8) 業種別 各事業所のごみを処理するうえでの課題について . . . P 17
- (9) 業種別 各事業所の品目別の処理方法について . . . P 18
(品目別処理方法)
- (10) 業種別 川崎市の今後の取組について . . . P 24

廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

＜実施概要＞

- 1 実施日 令和6年5月31日～7月5日
- 2 対象者 市内3,500事業者
- 3 回答数 1,521件（郵送又はウェブ）

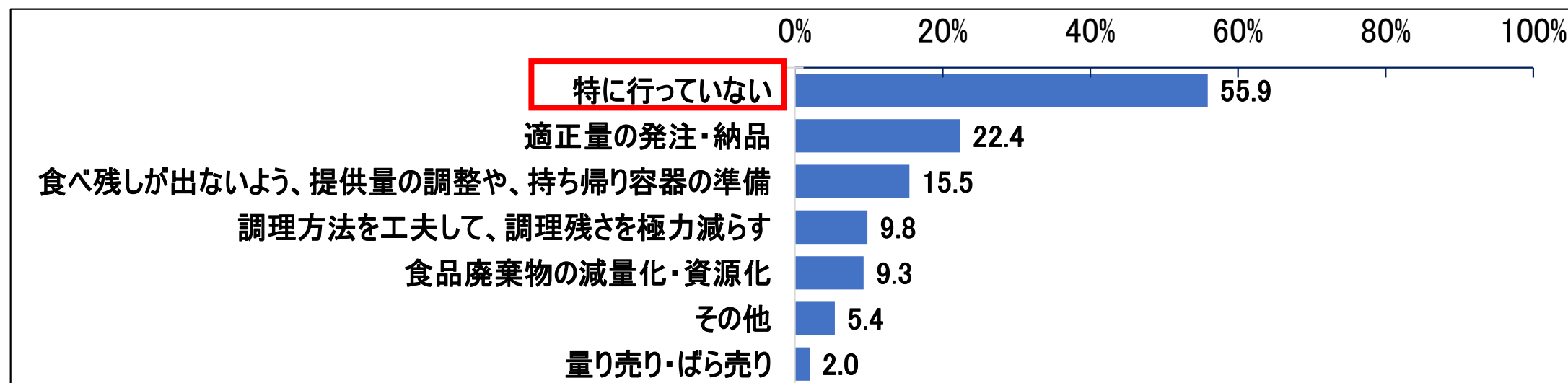
Q1.ごみの減量化・資源化の推進に向け、貴事業所ではどのような取組をしていますか。（複数可）



廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

Q2.食品ロスの削減及び食品廃棄物の減量化・資源化の推進に向け、貴事業所ではどのような取組をしていますか。（複数可）

▼取組を特に行っていないが5割以上を占める

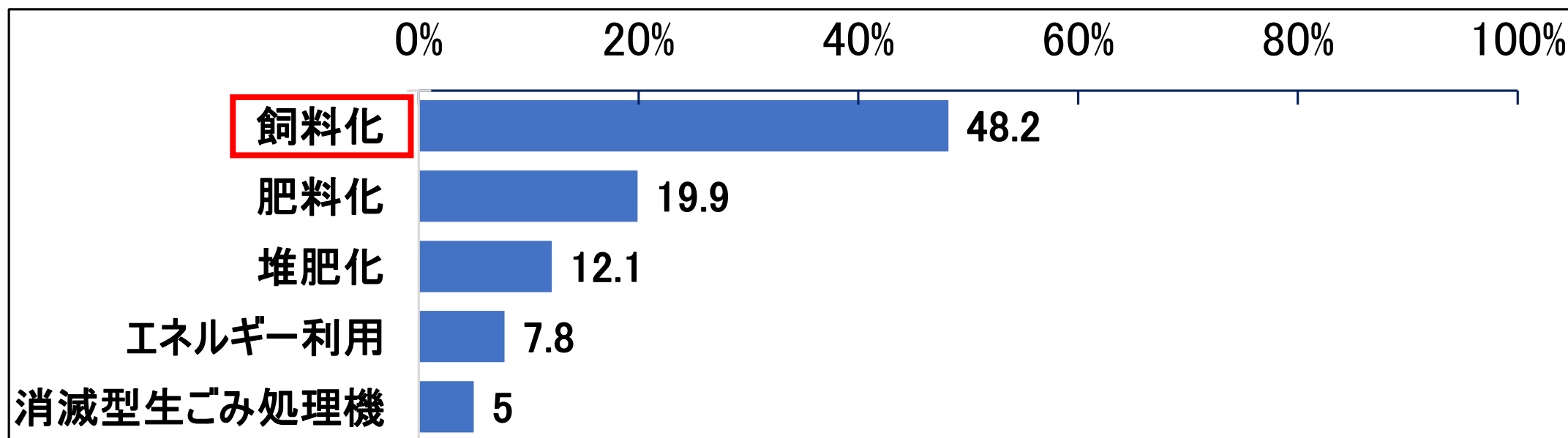


※厨芥類を排出していない事業者を除く

廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

Q2_1. Q2.「1 食品廃棄物の減量化・資源化」に○をした方は下の減量化・資源化の方法についても○をお願いします。（複数可）

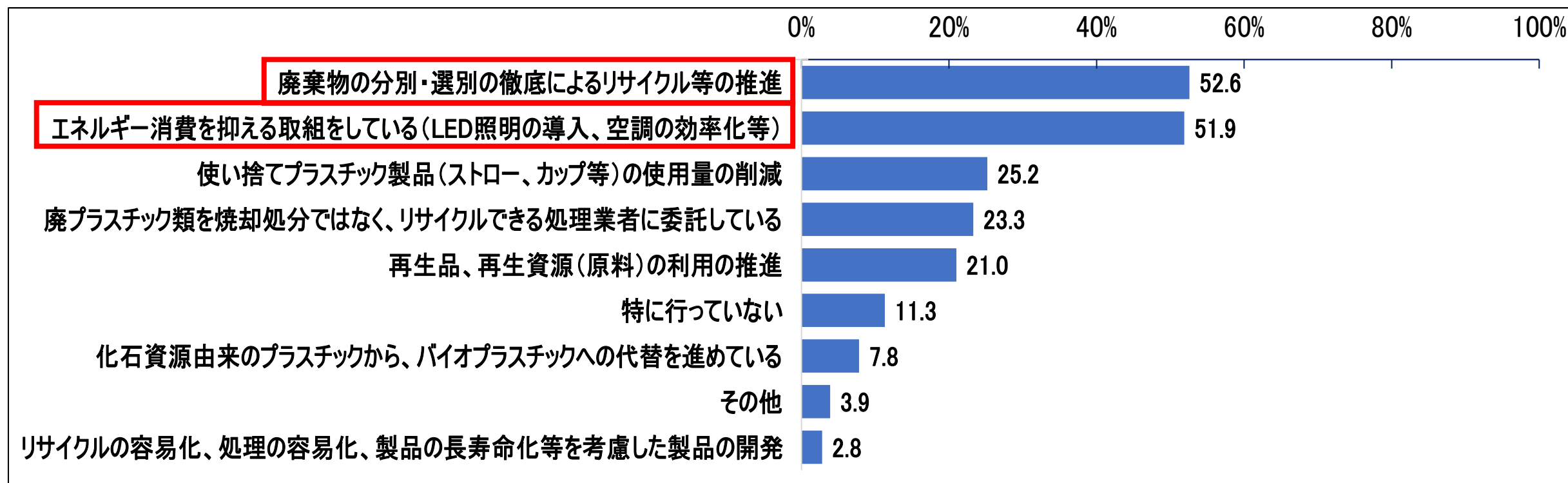
▼食品廃棄物の減量化・資源化の取組を行っているうち、飼料化の取組が約5割を占める



廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

Q3.脱炭素化（CO₂ 排出量の削減等）に向け、貴事業所ではどのような取組をしていますか。（複数可）

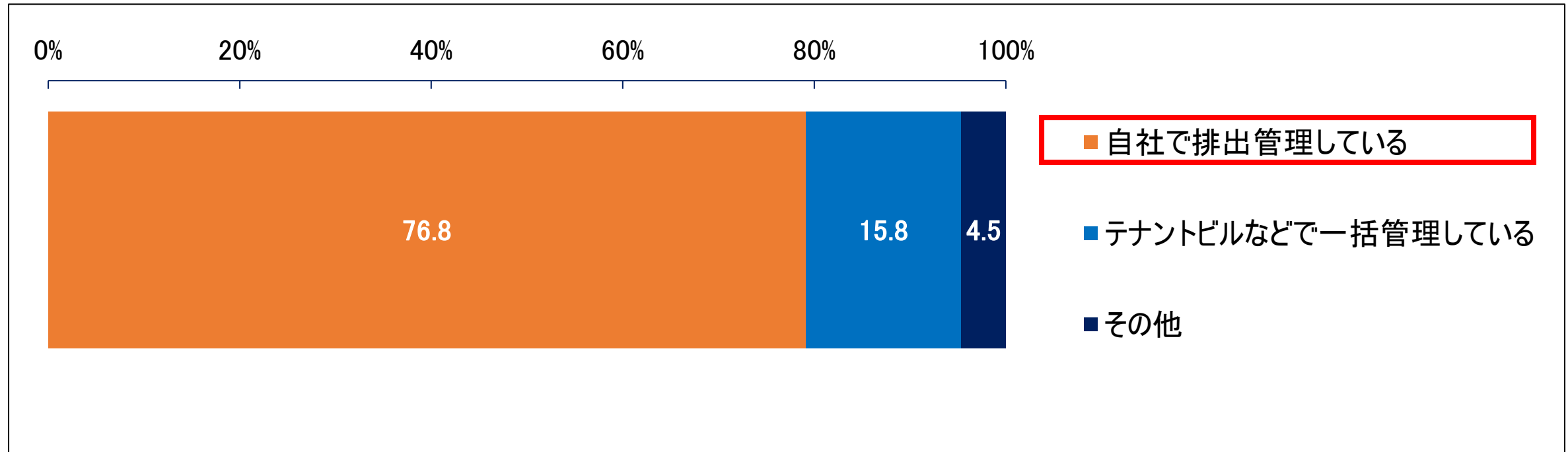
▼廃棄物の分別・選別の徹底によるリサイクル等の推進、エネルギー消費を抑える取組が5割以上を占める



廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

Q4.貴事業所のごみ置き場の管理は、どのようにされていますか。（1つ選択）

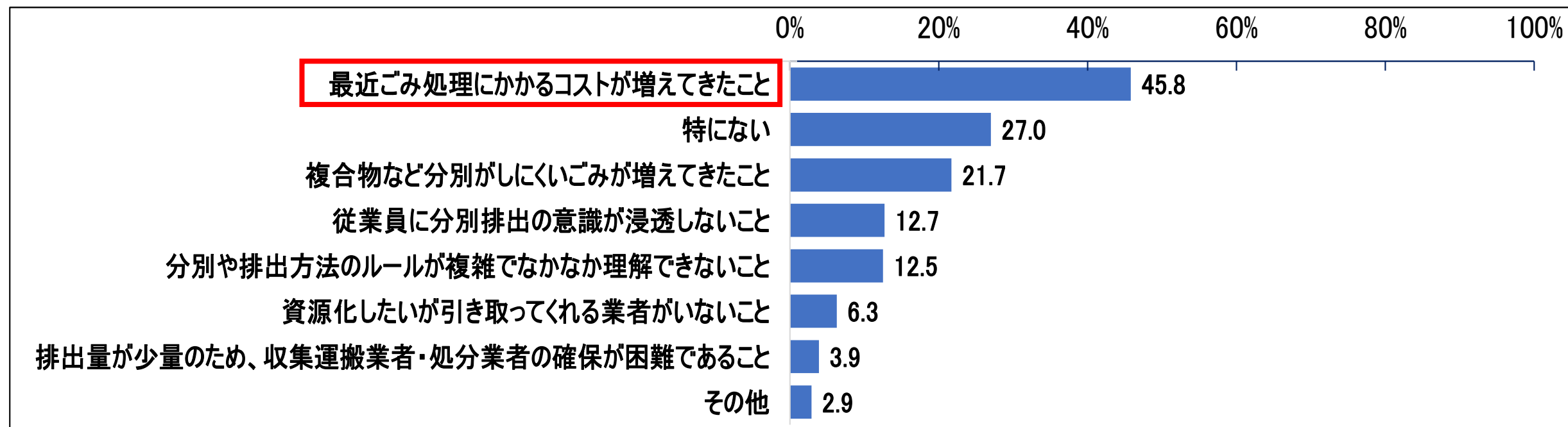
▼自社で排出管理を行っているが約7割以上



廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

Q5.貴事業所がごみを処理するうえで課題と感じていることはありますか。（複数可）

▼ごみ処理にかかるコストが増えたと感じるが4割以上を占める

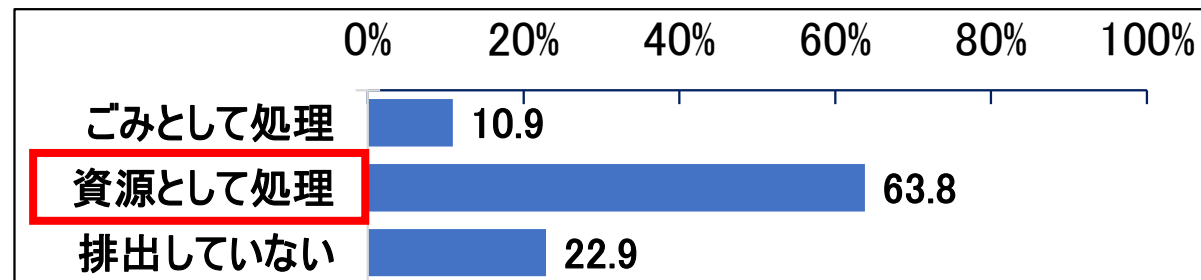


事業者の主な意見等

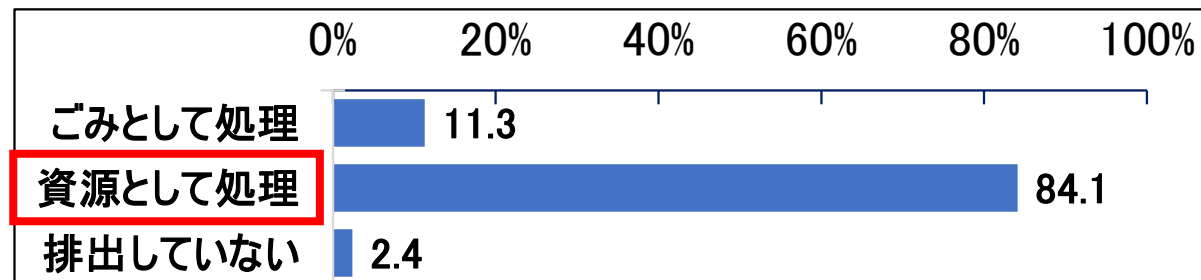
廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

Q6-1.品目別の処理方法について、該当するものに○をしてください。（複数可）

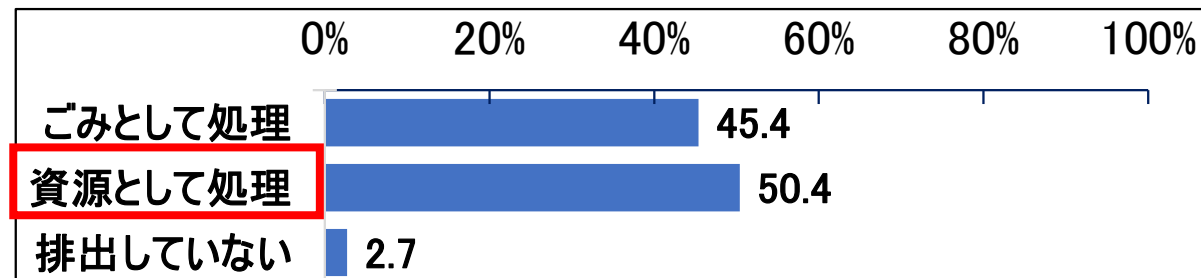
(1)新聞・雑誌



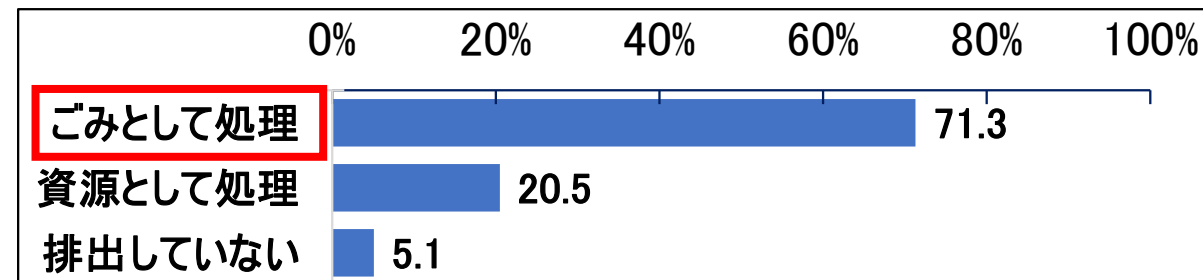
(2)ダンボール



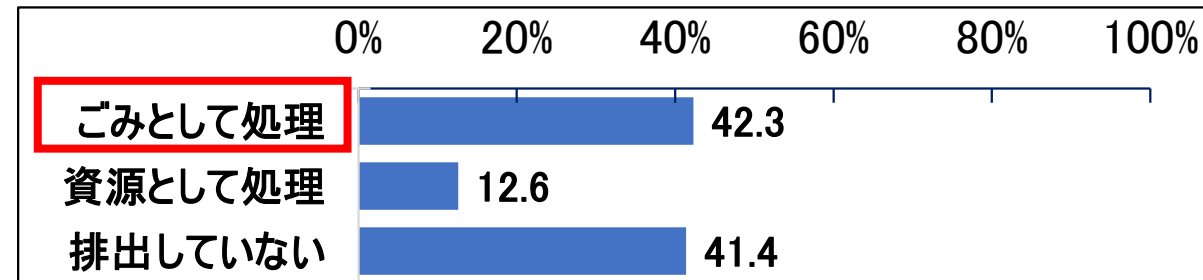
(3)その他紙類



(4)厨芥類(生ごみ)



(5)その他資源物（剪定枝など）

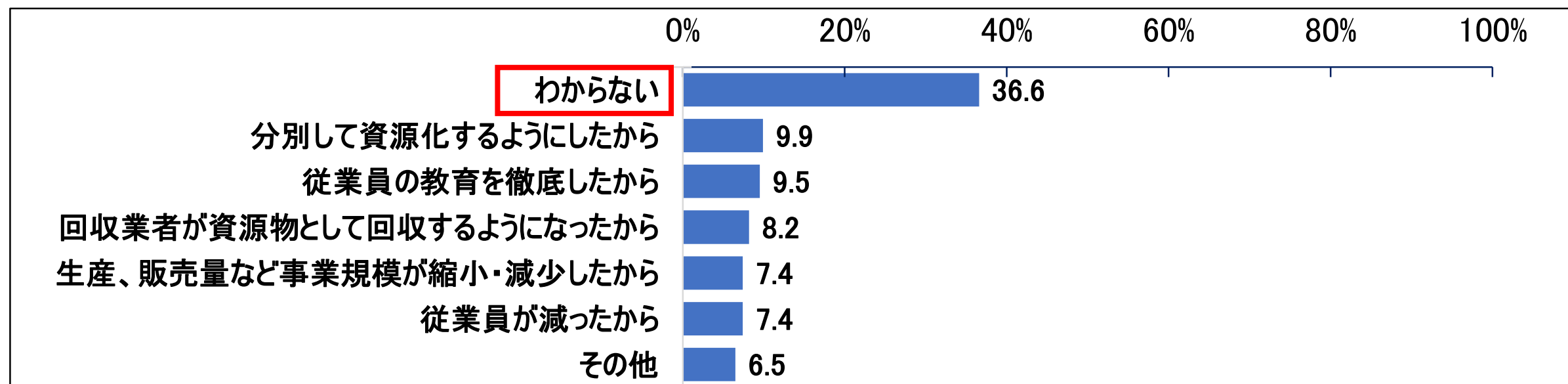


▲紙類については、資源として処理が上位を占めている
一方、厨芥類、その他資源物については、ごみとして処理
が上位を占める

廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

Q6-2.ここ数年、貴事業所の問6-1のごみ（新聞・雑誌・ダンボール・紙類・生ごみ・剪定枝など）の排出量が減少している場合、その理由を教えてください。（複数可）

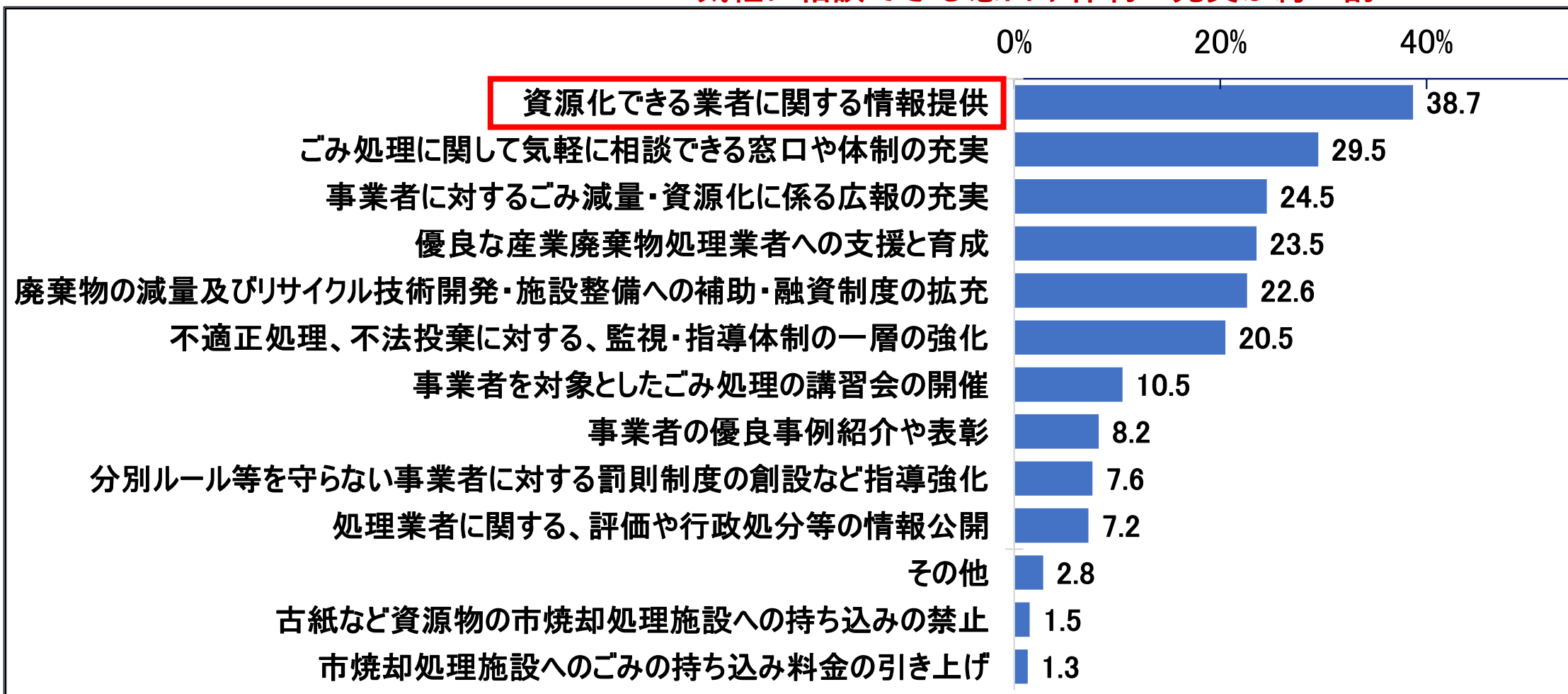
▼減少理由はわからないが約4割



廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

Q7.川崎市は、今後どのような取組に力を入れる必要がありますか。（3つまで選択可）

▼資源化できる業者に関する情報提供が必要との意見が約4割
気軽に相談できる窓口や体制の充実が約3割



事業者の主な意見等（クロス集計）

廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

業種別×Q1.ごみの減量化・資源化の推進に向け、貴事業所ではどのような取組をしていますか（複数可）

▼紙の使用量削減、新聞・雑誌、段ボール、その他紙類の資源化が全体の2割以上を占める

	割合																
	紙の使用 量削減 （両面コ ピー、 ペーパー レス化な ど）	新聞・雑 誌、段 ボール、 その他紙 類の資源 化	プラ製の コンテナ などの再 使用容器 の活用等 による段 ボール使 用量削減	包装材・ 梱包材の 使用量の 削減	不要物の 有効利 用・有償 売却の促 進	従業員に 対する教 育の徹底	ごみの削 減目標の 設定	ごみの発 生抑制の ための製 造工程の 改善	ごみ処理 に関する 管理体制 の整備 （責任者 の設置な ど）	樹木等の 剪定によ り発生し た剪定枝 等の資源 化	規格材の 使用など 廃材発生 の少ない 資材の採 用	ユニット 工法など 廃材発生 の少ない 工法の採 用	再生資材 の工事利 用の促進	その他	特に行っ ていない	合計	
製造業・電気・ガス・熱供給	23.7%	19.8%	7.3%	6.9%	10.6%	12.3%	4.4%	3.9%	6.3%	0.8%	0.9%	0.3%	0.8%	0.9%	0.8%	100.0%	N=999
建設業	27.5%	21.1%	4.2%	5.6%	7.9%	13.8%	2.8%	1.0%	4.0%	1.8%	1.7%	1.7%	5.0%	0.4%	1.1%	100.0%	N=1667
運輸業・郵便業・自動車整備業	29.8%	15.9%	7.2%	5.8%	6.4%	17.6%	5.5%	0.0%	6.1%	0.6%	1.2%	0.0%	0.9%	1.4%	1.4%	100.0%	N=346
医療、福祉	32.8%	24.0%	4.9%	3.6%	5.4%	15.7%	3.4%	0.4%	4.7%	1.9%	0.6%	0.0%	0.0%	1.1%	0.9%	100.0%	N=466
サービス業	20.5%	21.1%	5.9%	2.7%	14.6%	16.8%	3.2%	2.2%	7.0%	2.2%	0.0%	0.0%	1.6%	0.5%	1.1%	100.0%	N=185
水道業	35.8%	28.3%	1.9%	0.0%	5.7%	11.3%	1.9%	0.0%	3.8%	9.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	100.0%	N=53
その他 ※	25.1%	20.4%	9.4%	10.4%	7.3%	15.5%	3.7%	1.6%	3.7%	0.5%	0.3%	0.0%	0.3%	0.4%	1.2%	100.0%	N=1178
合計	26.7%	20.6%	6.4%	6.7%	8.2%	14.4%	3.6%	1.6%	4.7%	1.3%	1.0%	0.7%	2.0%	0.7%	1.0%	100.0%	

※主に飲料品小売業、飲食店

事業者の主な意見等（クロス集計）

廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

業種別 × Q2.食品ロスの削減及び食品廃棄物の減量化・資源化の推進に向け、貴事業所ではどのような取組をしていますか。（複数可）

▼全体では、特に行っていないが4割以上を占めるが、その他（主に飲料品小売店、飲食店）では適正量の発注・納品が約3割を占める

割合									
食品廃棄物の減 量化・資源化	量り売り・ばら 売り	食べ残しが出な いよう、提供量 の調整や、持ち 帰り容器の準備	調理方法を工夫 して、調理残さ を極力減らす	適正量の発注・ 納品	その他	特に行っていな い	無回答	合計	
7.0%	1.0%	7.4%	4.3%	15.4%	3.7%	55.5%	5.7%	100.0%	
1.4%	0.4%	12.2%	3.1%	7.2%	1.3%	69.8%	4.7%	100.0%	
3.4%	0.0%	6.0%	1.7%	6.0%	2.6%	77.8%	2.6%	100.0%	
4.5%	0.4%	18.2%	19.4%	25.2%	2.9%	27.7%	1.7%	100.0%	
8.9%	1.8%	14.3%	1.8%	10.7%	1.8%	58.9%	1.8%	100.0%	
0.0%	0.0%	13.6%	0.0%	4.5%	9.1%	68.2%	4.5%	100.0%	
15.4%	3.8%	14.0%	11.5%	29.9%	8.5%	14.9%	1.8%	100.0%	
7.5%	1.6%	12.5%	7.9%	18.0%	4.3%	44.9%	3.3%	100.0%	

※主に飲料品小売業、飲食店

※厨芥類を排出していない事業者を除く

事業者の主な意見等（クロス集計）

廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

業種別×Q2_1.Q2.「1 食品廃棄物の減量化・資源化」に○をした方は下の減量化・資源化の方法についても○をお願いします。

▼その他業種（主に飲料品小売店、飲食店）の飼料化が5割以上

	割合						合計	
	飼料化	肥料化	堆肥化	消滅型生ごみ処理機	エネルギー利用	無回答		
製造業・電気・ガス・熱供給	37.1%	22.9%	17.1%	5.7%	8.6%	8.6%	100.0%	N=35
建設業	0.0%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	44.4%	100.0%	N=9
運輸業・郵便業・自動車整備業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	N=4
医療、福祉	7.1%	21.4%	28.6%	0.0%	0.0%	42.9%	100.0%	N=14
サービス業	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	100.0%	N=6
水道業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	N=0
その他 ※	54.1%	12.2%	5.1%	5.1%	7.1%	16.3%	100.0%	N=98
合計	194.3%	80.0%	48.6%	20.0%	31.4%	100.0%	100.0%	

※主に飲料品小売業、飲食店

事業者の主な意見等（クロス集計）

廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

業種別×Q3.脱炭素化(CO₂排出量の削減等)に向け貴事業所ではどのような取組をしていますか(複数可)

割合											
	使い捨てプラスチック製品（ストロー、カップ等）の使用量の削減	化石資源由来のプラスチックから、バイオプラスチックへの代替を進めている	廃棄物の分別・選別の徹底によるリサイクル等の推進	再生品、再生資源（原料）の利用の推進	廃プラスチック類を焼却処分ではなく、リサイクルできる処理業者に委託している	リサイクルの容易化、処理の容易化、製品の長寿命化等を考慮した製品の開発	エネルギー消費を抑える取組をしている（LED照明の導入、空調の効率化等）	その他	特に行っていない	無回答	合計
製造業・電気・ガス・熱供給	6.0%	1.2%	30.7%	9.9%	13.1%	3.0%	29.1%	1.2%	4.3%	1.2%	100.0%
建設業	13.6%	1.2%	29.0%	11.4%	10.2%	0.7%	24.8%	0.9%	7.1%	1.0%	100.0%
運輸業・郵便業・自動車整備業	7.4%	0.5%	25.9%	13.9%	11.1%	0.5%	30.1%	4.6%	5.6%	0.5%	100.0%
医療、福祉	9.9%	1.1%	24.4%	11.7%	7.8%	0.7%	31.8%	0.0%	10.2%	2.5%	100.0%
サービス業	4.5%	1.5%	26.5%	19.7%	13.6%	0.8%	28.8%	2.3%	2.3%	0.0%	100.0%
水道業	9.1%	0.0%	34.1%	9.1%	15.9%	0.0%	27.3%	2.3%	0.0%	2.3%	100.0%
その他 ※	18.9%	10.9%	19.3%	6.8%	12.7%	1.8%	20.6%	3.4%	4.0%	1.6%	100.0%
合計	12.4%	3.8%	26.0%	10.4%	11.5%	1.4%	25.7%	1.9%	5.6%	1.3%	100.0%

※主に飲料品小売業、飲食店

▲廃棄物の分別・選別の徹底によりリサイクル等の推進、エネルギー消費を抑える取組をしているが全体の2割以上を占める

事業者の主な意見等（クロス集計）

廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

業種別×Q4.貴事業所のごみ置き場の管理は、どのようにされていますか。（1つだけ○）

	割合				合計	
	自社で排出管理している	テナントビルなどで一括管理している	その他	無回答		
製造業・電気・ガス・熱供給	85.1%	8.3%	2.9%	3.6%	100.0%	N=276
建設業	78.5%	16.3%	3.9%	1.3%	100.0%	N=534
運輸業・郵便業・自動車整備業	68.7%	23.5%	6.1%	1.7%	100.0%	N=115
医療、福祉	77.6%	17.1%	1.8%	3.5%	100.0%	N=170
サービス業	90.2%	2.0%	0.0%	7.8%	100.0%	N=51
水道業	90.0%	0.0%	5.0%	5.0%	100.0%	N=20
その他 ※	67.3%	20.8%	8.2%	3.7%	100.0%	N=355
合計	76.8%	15.8%	4.5%	2.8%	100.0%	

※主に飲料品小売業、飲食店

▲自社で排出管理しているが全体の7割以上

事業者の主な意見等（クロス集計）

廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

業種別×Q5.貴事業所がごみを処理するうえで課題と感じていることはありますか。（1つだけ○）

	割合								
	最近ごみ処理にかかるコストが増えてきたこと	排出量が少 量のため、 収集運搬業 者・処分業 者の確保が 困難である こと	複合物など 分別がしに くいごみが 増えてきた こと	資源化した いが引き 取ってくれ る業者がい ないこと	従業員に分 別排出の意 識が浸透し ないこと	分別や排出 方法のルー ルが複雑で なかなか理 解できない こと	その他	特にな い	合計
製造業・電気・ガス・熱供給	32.0%	2.8%	15.5%	8.9%	8.1%	7.6%	2.8%	19.3%	100.0%
建設業	32.0%	4.2%	17.5%	3.2%	7.7%	7.3%	2.0%	23.4%	100.0%
運輸業・郵便業・自動車整備業	20.8%	2.3%	21.4%	2.9%	16.8%	11.0%	1.7%	20.8%	100.0%
医療、福祉	41.9%	2.1%	14.0%	5.1%	7.6%	10.6%	1.7%	13.1%	100.0%
サービス業	35.6%	0.0%	25.4%	0.0%	3.4%	1.7%	0.0%	32.2%	100.0%
水道業	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	70.0%	100.0%
その他 ※	37.6%	2.0%	11.9%	4.4%	11.3%	12.7%	2.4%	14.1%	100.0%
合計	33.4%	2.8%	15.9%	4.6%	9.3%	9.1%	2.1%	19.7%	100.0%

※主に飲料品小売業、飲食店

▲ごみ処理にかかるコストが増えてきたことを課題として挙げている業種が多い

事業者の主な意見等（クロス集計）

廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

業種別×Q6-1.品目別処理方法（1）新聞・雑誌

▼全体の6割以上を資源として処理しており、水道業では9割を占める

	割合				
	ごみとして 処理	資源として 処理	排出してい ない	合計	
製造業・電気・ガス・熱供給	11.2%	68.7%	18.3%	100.0%	N=278
建設業	12.1%	69.0%	16.7%	100.0%	N=538
運輸業・郵便業・自動車整備業	14.5%	44.4%	36.8%	100.0%	N=117
医療、福祉	12.9%	64.3%	19.9%	100.0%	N=171
サービス業	5.8%	73.1%	15.4%	100.0%	N=52
水道業	0.0%	90.0%	5.0%	100.0%	N=20
その他 ※	7.8%	53.1%	33.8%	100.0%	N=358
合計	10.8%	63.2%	22.7%	100.0%	

※主に飲料品小売業、飲食店

事業者の主な意見等（クロス集計）

廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

業種別×Q6-1.品目別処理方法（2）ダンボール

▼全体の8割以上が資源として処理しており、水道業では9割以上を占める

	割合				
	ごみとして 処理	資源として 処理	排出してい ない	合計	
製造業・電気・ガス・熱供給	9.7%	86.4%	2.2%	100.0%	N=279
建設業	13.7%	82.6%	2.0%	100.0%	N=540
運輸業・郵便業・自動車整備業	13.8%	78.4%	5.2%	100.0%	N=116
医療、福祉	11.8%	81.2%	4.1%	100.0%	N=170
サービス業	7.7%	86.5%	0.0%	100.0%	N=52
水道業	0.0%	95.0%	0.0%	100.0%	N=20
その他 ※	8.7%	83.8%	1.7%	100.0%	N=357
合計	11.2%	83.4%	2.3%	100.0%	

※主に飲料品小売業、飲食店

事業者の主な意見等（クロス集計）

廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

業種別×Q6-1.品目別処理方法（3） その他紙類

▼全体の約5割が資源として処理しており、水道業では9割以上を占める

	割合				
	ごみとして 処理	資源として 処理	排出してい ない	合計	
製造業・電気・ガス・熱供給	 39.7%	 54.0%	3.1%	100.0%	N=287
建設業	 40.8%	 54.2%	2.6%	100.0%	N=544
運輸業・郵便業・自動車整備業	 44.9%	 49.2%	1.7%	100.0%	N=118
医療、福祉	 49.1%	 45.7%	2.3%	100.0%	N=175
サービス業	 24.1%	 70.4%	0.0%	100.0%	N=54
水道業	 5.0%	 90.0%	0.0%	100.0%	N=20
その他 ※	 56.1%	 34.2%	3.3%	100.0%	N=360
合計	44.4%	49.2%	2.6%	100.0%	

※主に飲料品小売業、飲食店

事業者の主な意見等（クロス集計）

廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

業種別×Q6-1.品目別処理方法（4）厨芥類（生ごみ）

▼全体の約7割がごみとして処理しており、水道業では8割以上を占める

	割合				
	ごみとして 処理	資源として 処理	排出してい ない	合計	
製造業・電気・ガス・熱供給	69.9%	4.3%	23.7%	100.0%	N=279
建設業	71.3%	1.7%	23.8%	100.0%	N=534
運輸業・郵便業・自動車整備業	62.1%	1.7%	31.0%	100.0%	N=116
医療、福祉	73.7%	3.5%	19.3%	100.0%	N=171
サービス業	74.5%	2.0%	17.6%	100.0%	N=51
水道業	85.0%	10.0%	0.0%	100.0%	N=20
その他※	69.9%	12.3%	11.2%	100.0%	N=365
合計	70.6%	5.0%	20.3%	100.0%	

※主に飲料品小売業、飲食店

事業者の主な意見等（クロス集計）

廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

業種別×Q6-1.品目別処理方法（5） その他資源物（剪定枝など）

▼全体の4割がごみとして処理しており、水道業では約7割を占める

	割合				
	ごみとして 処理	資源として 処理	排出してい ない	合計	
製造業・電気・ガス・熱供給	50.0%	10.4%	36.1%	100.0%	N=280
建設業	38.9%	14.6%	42.3%	100.0%	N=542
運輸業・郵便業・自動車整備業	41.9%	12.0%	41.0%	100.0%	N=117
医療、福祉	43.9%	9.8%	42.2%	100.0%	N=173
サービス業	39.2%	27.5%	27.5%	100.0%	N=51
水道業	69.6%	21.7%	4.3%	100.0%	N=23
その他※	36.6%	9.2%	45.5%	100.0%	N=358
合計	41.6%	12.4%	40.7%	100.0%	

※主に飲料品小売業、飲食店

事業者の主な意見等（クロス集計）

廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

業種別×Q6-2.ここ数年、貴事業所の問8-1のごみ（新聞・雑誌・ダンボール・紙類・生ごみ・剪定枝など）の排出量が減少している場合、その理由を教えてください。（複数可）

	割合							合計	
	生産、販売量など事業規模が縮小・減少したから	従業員が減ったから	回収業者が資源物として回収するようになったから	分別して資源化するようになったから	従業員の教育を徹底したから	その他	わからない		
製造業・電気・ガス・熱供給	10.2%	6.5%	8.4%	7.5%	8.1%	5.6%	28.0%	100.0%	N=322
建設業	5.8%	8.9%	7.5%	9.6%	7.4%	6.5%	35.2%	100.0%	N=583
運輸業・郵便業・自動車整備業	9.8%	7.6%	8.3%	6.1%	9.1%	5.3%	38.6%	100.0%	N=132
医療、福祉	2.8%	2.8%	3.4%	6.1%	7.8%	5.0%	42.5%	100.0%	N=179
サービス業	3.4%	6.8%	13.6%	16.9%	13.6%	5.1%	25.4%	100.0%	N=59
水道業	0.0%	10.0%	5.0%	5.0%	0.0%	5.0%	35.0%	100.0%	N=20
その他※	6.8%	4.9%	7.3%	10.6%	10.9%	6.0%	29.4%	100.0%	N=385
合計	6.7%	6.7%	7.4%	9.0%	8.6%	5.9%	33.2%	100.0%	

※主に飲料品小売業、飲食店

▲わからないが全体の3割を占める一方、サービス業では分別して資源化が約2割

事業者の主な意見等（クロス集計）

廃棄物に係る意識等についてのアンケート（事業系）

業種別× Q7.川崎市は、今後どのような取組に力を入れる必要がありますか。（3つまで選択可）

	割合														
	事業者に対するごみ減量・資源化に係る広報の充実	資源化できる業者に関する情報提供	ごみ処理に関して気軽に相談できる窓口や体制の充実	事業者を対象としたごみ処理の講習会の開催	事業者の優良事例紹介や表彰	分別ルール等を守らない事業者に対する罰則制度の創設など指導強化	市焼却処理施設へのごみの持ち込み料金の引き上げ	古紙など資源物の市焼却処理施設への持ち込みの禁止	不適正処理、不法投棄に対する、監視・指導体制の一層の強化	処理業者に関する、評価や行政処分等の情報公開	廃棄物の減量及びリサイクル技術開発・施設整備への補助・融資制度の拡充	優良な産業廃棄物処理業者への支援と育成	その他	合計	
製造業・電気・ガス・熱供給	11.8%	21.4%	13.5%	6.1%	3.7%	3.3%	0.5%	1.0%	9.1%	4.8%	9.3%	10.5%	2.0%	100.0%	N=602
建設業	12.8%	20.1%	13.1%	5.0%	3.9%	3.5%	0.5%	1.0%	10.3%	3.1%	9.6%	10.9%	1.0%	100.0%	N=1076
運輸業・郵便業・自動車整備業	12.0%	15.4%	15.4%	5.8%	4.1%	10.0%	0.8%	0.0%	9.5%	7.1%	6.6%	7.1%	1.7%	100.0%	N=241
医療、福祉	12.8%	18.8%	18.8%	3.5%	3.8%	1.7%	0.6%	0.6%	8.7%	2.9%	10.7%	11.9%	1.7%	100.0%	N=345
サービス業	5.7%	11.5%	13.9%	9.0%	8.2%	5.7%	1.6%	2.5%	5.7%	2.5%	12.3%	14.8%	2.5%	100.0%	N=122
水道業	9.3%	27.9%	14.0%	7.0%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%	9.3%	0.0%	16.3%	7.0%	0.0%	100.0%	N=43
その他 ※	11.1%	16.1%	14.1%	4.0%	3.7%	2.9%	0.7%	0.1%	11.4%	2.5%	15.3%	13.7%	0.8%	100.0%	N=721
合計	11.8%	18.7%	14.3%	5.1%	4.0%	3.7%	0.6%	0.7%	9.9%	3.5%	10.9%	11.4%	1.3%	100.0%	

※主に飲料品小売業、飲食店

▲資源化できる業者に関する情報提供が約2割を占める